

# 温泉分析書

## 1 温泉分析申請者

住所 : 東京都渋谷区代々木1丁目35番4号  
氏名 : 株式会社 サンフジ企画 代表取締役 末吉 正氣

## 2 源泉名及湧出地

源泉名 : 伊勢崎天然温泉招美の湯  
湧出地 : 群馬県伊勢崎市蕪塚町1191-2番地

## 3 湧出地における調査及び試験成績

- (1) 調査及び試験者 : 社団法人 長野県薬剤師会 検査センター 第二課長 清水 正  
(2) 調査及び試験年月日 : 平成13年12月7日  
(3) 泉 温 : 47.4℃ (調査時における気温10℃)  
(4) 湧 出 量 : 253 0/分 (掘削による自噴)  
(5) 知覚的試験 : 黄色を呈し、塩味・微鉄味・微硫化水素臭を有す。  
(6) 水素イオン濃度 : pH 7.7  
(7) ラドン (Rn) : 未測定

## 4 試験室における試験成績

- (1) 試験者名 : 社団法人 長野県薬剤師会 検査センター 第二課長 清水 正  
(2) 分析終了年月日 : 平成13年12月12日  
(3) 知覚的試験 : 黄色を呈し、塩味・微鉄味・微硫化水素臭を有す。  
(4) 密 度 : 1.0020 (20℃において) 1.0002 (20℃/4℃)  
(5) 水素イオン濃度 : pH 7.72  
(6) 蒸発残留物 : 2357 mg/kg (乾燥温度180℃)

## 5 試料1kgの成分、分量及び組成

### (1) 陽イオン

成 分	ミリグラム	ミリバル	ミリバル%
水素イオン (H <sup>+</sup> )	—	—	—
リチウムイオン (Li <sup>+</sup> )	0.07	0.01	0.03
ナトリウムイオン (Na <sup>+</sup> )	843.5	36.30	91.32
カリウムイオン (K <sup>+</sup> )	12.1	0.31	0.78
アンモニウムイオン (NH <sub>4</sub> <sup>+</sup> )	—	—	—
マグネシウムイオン (Mg <sup>2+</sup> )	6.6	0.54	1.36
カルシウムイオン (Ca <sup>2+</sup> )	48.9	2.44	6.14
ストロンチウムイオン (Sr <sup>2+</sup> )	0.8	0.02	0.05
バリウムイオン (Ba <sup>2+</sup> )	1.1	0.02	0.05
アルミニウムイオン (Al <sup>3+</sup> )	0.05	0.006	0.02
マンガンイオン (Mn <sup>2+</sup> )	0.1	0.004	0.01
鉄(II)イオン (Fe <sup>2+</sup> )	2.4	0.09	0.23
鉄(III)イオン (Fe <sup>3+</sup> )	—	—	—
銅イオン (Cu <sup>2+</sup> )	—	—	—
亜鉛イオン (Zn <sup>2+</sup> )	0.05	0.002	0.01
陽イオン 計	906.7	39.74	100

### (2) 陰イオン

成 分	ミリグラム	ミリバル	ミリバル%
フッ素イオン (F <sup>-</sup> )	0.4	0.02	0.05
塩素イオン (Cl <sup>-</sup> )	1046	29.50	74.20
臭素イオン (Br <sup>-</sup> )	3.5	0.04	0.10
ヨウ素イオン (I <sup>-</sup> )	2.1	0.02	0.05
亜硝酸イオン (NO <sub>2</sub> <sup>-</sup> )	—	—	—
硝酸イオン (NO <sub>3</sub> <sup>-</sup> )	—	—	—
水酸イオン (OH <sup>-</sup> )	—	—	—
硫化水素イオン (HS <sup>-</sup> )	0.07	0.002	0.01
硫酸水素イオン (HSO <sub>4</sub> <sup>-</sup> )	—	—	—
硫酸イオン (SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> )	0.2	0.004	0.01
リン酸水素イオン (HPO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> )	0.4	0.008	0.02
メタ亜ヒ酸イオン (AsO <sub>3</sub> <sup>-</sup> )	—	—	—
炭酸水素イオン (HCO <sub>3</sub> <sup>-</sup> )	620.0	10.16	25.56
炭酸イオン (CO <sub>3</sub> <sup>2-</sup> )	—	—	—
メタケイ酸イオン (HSiO <sub>3</sub> <sup>-</sup> )	—	—	—
メタホウ酸イオン (BO <sub>3</sub> <sup>-</sup> )	—	—	—
陰イオン 計	1673	39.75	100

### (3) 非解離成分

成 分	ミリグラム	ミリモル
メタケイ酸 (H <sub>2</sub> SiO <sub>3</sub> )	36.2	0.46
メタホウ酸 (HBO <sub>2</sub> )	17.4	0.40
メタ亜ヒ酸 (HAsO <sub>2</sub> )	—	—
リン酸 (H <sub>3</sub> PO <sub>4</sub> )	—	—
硫酸 (H <sub>2</sub> SO <sub>4</sub> )	—	—
非解離成分 計	53.6	0.86

### (4) 溶存ガス成分

成 分	ミリグラム	ミリモル
遊離二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	24.1	0.55
(遊離炭酸)	—	—
遊離硫化水素 (H <sub>2</sub> S)	0.02	0.0006
溶存ガス成分 計	24.1	0.55

溶存物質 (ガス性のものを除く) 2633 mg/kg

成分総計 2657 mg/kg

### (5) その他の微量成分

総水銀 (Hg) 不検出 (0.0005 mg/kg未満)  
鉛 (Pb) 不検出 (0.01 mg/kg未満)  
カドミウム (Cd) 不検出 (0.005 mg/kg未満)  
総クロム (Cr) 不検出 (0.02 mg/kg未満)  
総ヒ素 (As) 0.012 mg/kg未満

## 6 泉質

ナトリウム-塩化物・炭酸水素塩温泉 (弱アルカリ性低張性高温泉)

## 7 禁忌症、適応症等

### ○ 浴用の禁忌症 (入浴を控えた方がよい疾患及び症状)

一般的禁忌症 急性疾患 (特に熱のある場合)、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中 (とくに、初期と末期)

泉質別禁忌症

### ○ 浴用の適応症 (入浴すると効果がある疾患及び症状)

一般的適応症 神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進

泉質別適応症 きりきず、やけど、慢性皮膚病、虚弱児童、慢性婦人病

### ○ 浴用上の注意事項

ア. 温泉療養を始める場合は、最初の数日の入浴回数を1日当たり1回程度とすること。

その後は1日当たり2回ないし、3回までとすること。

イ. 温泉療養のための必要期間は、おおむね2ないし3週間を適当とすること。

ウ. 温泉療養開始後おおむね3日ないし1週間前後に湯あたり (湯さわり又は浴湯反応) が現れることがある。

「湯あたり」の間は入浴回数を減じ又は入浴を中止し、湯あたり症状の回復をまつこと

エ. 以上のほか入浴には次の諸点について注意すること。

- ・ 入浴時間は入浴温度により異なるが、初めは3分ないし10分程度とし、慣れるにしたがって延長してもよい。
- ・ 入浴中は運動浴の場合とは別として一般には安静を守る。
- ・ 入浴後は身体に付着した温泉成分を水で洗い流さない (湯ただれを起こしやすい人は逆に浴後真水で身体を洗うか温泉成分を拭き取るのがよい)。
- ・ 入浴後は湯冷めに注意して一定時間の安静を守る。
- ・ 次の疾患については原則として高温浴 (42℃以上) を禁忌とする。  
高度の動脈硬化症、高血圧症、心臓病
- ・ 熱い温泉に急に入るとめまい等を起こすことがあるので十分注意をする。
- ・ 食事の直前、直後の入浴は避けることが望ましい。
- ・ 飲酒しての入浴は特に注意する。